

同志社大学大学院 心理学研究科

博士課程（前期課程）

博士課程（後期課程）

2022年度 履修の手引き

目 次

■ 登録要領（前期・後期課程共通）	2
・ 科目登録について	2
・ 学業成績について	4
・ その他	5
■ 博士課程（前期課程）	7
・ 履修の手引き	8
・ 修士論文提出要領	10
・ 修士論文作成要領	12
・ 開講科目一覧（心理学コース）	13
・ 開講科目一覧（臨床心理学コース）	15
■ 博士課程（後期課程）	19
・ 履修の手引き	20
・ 博士学位論文作成パターン	26
・ 学位論文提出要領（課程博士）	28
・ 開講科目一覧	33

博士課程（前期・後期課程共通）

登 録 要 領

■ 科目登録について

科目登録は1年間の学習方針を決定すると同時に、次年度以降の履修にも影響しますので、計画性のある選択が望まれます。

登録の手続きについては、本要領のほか、『シラバス』、および後掲する各課程の『履修の手引き』頁等を熟読のうえ、各自で確実に手続きをしてください。

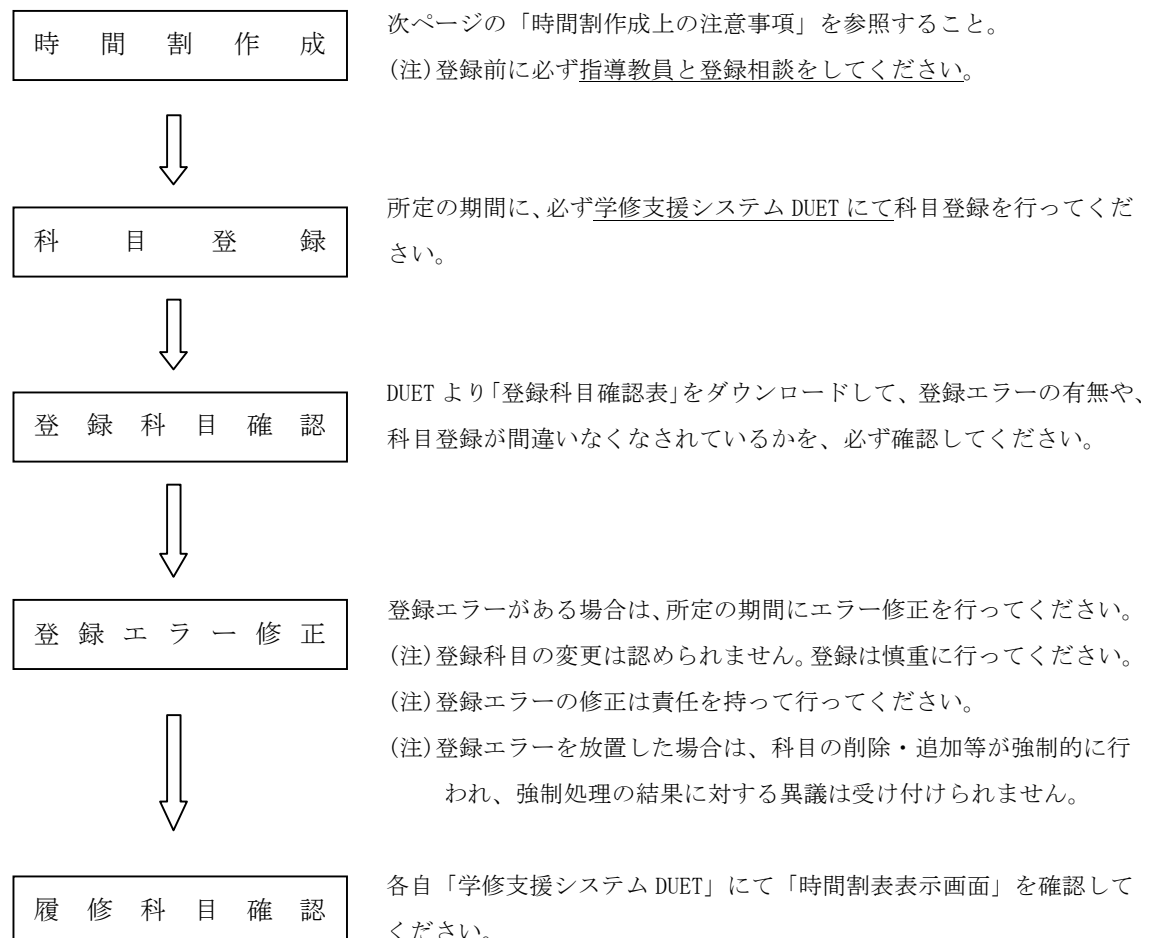
なお、登録の日時・場所については次ページを参照してください。急な変更等の連絡事項がある場合は、メール及び下記の（1）に示すHPにて周知します。

（1）登録書類公開場所

心理学部・心理学研究科 HP

「講義サポート URL https://psych.doshisha.ac.jp/lecture_support/」

（2）登録手順の流れ



(3) 登録関係日程

月 日	登録関係日程	時間	場所
4月1日(金)	新入生履修指導	11:00～12:00	夢告館 203 番教室
4月5日(火) 6日(水)	一般登録期間	4/5 10:00 ～ 4/6 17:00	学修支援システム DUET で各自登録
4月8日(金)	春学期講義開始		
4月12日(火) ～14日(木)	登録科目確認 (DUET で登録科目確認表をダウンロード)	大学ホームページで確認すること https://www.doshisha.ac.jp/students/curriculum/course_reg.html	
	エラー修正受付		
4月19日(火) 20日(水)	履修科目確認		

※4月1日の履修指導は2022年度生のみ対象

(4) 時間割作成上の注意事項

1. 時間割重複・同一科目の登録に注意

※時間割上、同一曜日・講時の科目を重複して登録することはできません。また、複数クラスある科目については、いずれか1クラスしか登録できません。

2. 高等研究教育院設置科目の履修について

心理学研究科では、高等研究教育院設置科目を履修することができますが、修得した単位は修了必要単位として認められません。

3. 学部授業科目の履修について

免許・資格取得等のため学部科目を履修することも可能ですが、履修条件が定められている科目があります。また、科目登録日程が分散しています(先行・一般登録等)。詳細については、当該科目提供学部の『履修要項』、『登録要領』などで確認してください。新入生で学部科目の登録(先行登録等)を希望する人は、至急、京田辺キャンパス教務センター(心理学研究科)まで申し出てください。

【注意】前期課程在籍者で、今年度、修士論文の提出を予定している場合は、必ず「論文」を上記の一般登録期間に登録してください。

(参考) よく見かける登録エラー

- ・時間割重複 …… 同一曜日・講時に複数の科目を登録しているため。
- ・受講できない …… 他研究科科目など、履修が認められていない科目を登録したため。
- ・当該科目コードなし… 間違った科目コードで登録したため。
- ・その他 …… 条件科目未履修 履修年次誤り など

■ 学業成績について

(1) GPA (Grade Point Average) 制度とは

各科目の成績評価を、大学院においては 7 段階 (A⁺, A, B⁺, B, C⁺, C, F) で評価し、各成績評価段階に 4.5～0.0 の評点 (Grade Point) を付与して、1 単位あたりの評点平均値 (Grade Point Average: GPA) を算出します。

1. 判定基準

＜大学院＞

評価	評点	判定内容	100 点法換算
A ⁺	4.5	特に優れた成績を示した	95 点以上
A	4.0	A ⁺ に準じた成績を示した	90～94 点
B ⁺	3.5	優れた成績を示した	85～89 点
B	3.0	B ⁺ に準じた成績を示した	80～84 点
C ⁺	2.5	妥当と認められる成績を示した	75～79 点
C	2.0	C ⁺ に準じた成績を示した	70～74 点
F	0.0	合格と認められるに足る成績を示さなかった	69 点以下

上記段階評価以外の評価は、(PAS(合格)・FAL(不合格)・TFC(認定)) とする。

2. 不合格科目と再履修

F あるいは FAL 評価であった科目は不合格科目とし、単位を修得したとはみなされません。再履修は、不合格科目に限り認められます。

3. GPA 算出方法

A⁺～F の 7 段階で評価された全科目の評価を評点に換算して、1 単位あたりの評点平均値を学期毎および累積で算出します。F 評価であった科目を再履修して C 以上の評価を得た場合、直近の F 評価は新たな評価に書き換えられます。単位が設定されていない科目、A⁺～F 以外の評価がついている科目は、GPA には算入されません。

＜具体的な算出方法＞

$$(A^+ \times 4.5 + A \times 4.0 + B^+ \times 3.5 + B \times 3.0 + C^+ \times 2.5 + C \times 2.0) \div (A^+ + A + B^+ + B + C^+ + C + F)$$

(A⁺～F はそれぞれの合計単位数)

(2) 科目登録と履修中止

原則として、春および秋学期履修科目の登録は、春学期授業開始前に終えてください。ただし、授業開始後 1 か月程度を受講し、望ましい評価が得られないと判断した科目については履修の中止を認めますが、通年科目・集中講義は原則として履修中止を認めていませんので注意が必要です。

また、秋学期授業開始前に、秋学期科目に限り登録変更を受け付けます。履修中止の日程および秋学期科目の登録日程等については大学 HP を参照ください。

https://www.doshisha.ac.jp/students/curriculum/course_reg.html

(3) 授業クラス毎の評点の平均値や分布の公表

各学部・研究科が定める科目を除き、授業クラス毎の評点の平均値や分布を、大学 HP 上でシラバス等とリンクして公表し、成績評価基準の透明化をはかります。

(4) クレーム・コミッティ制度について

科目担当者との直接的なコミュニケーションでは解決できない授業内容や授業方法に関する改善の要望がある場合は、京田辺キャンパス教務センター（心理学研究科）に相談してください。

大学院生からクレームが提出されると、心理学研究科がクレーム・コミッティを開催し、担当教員から事情を聞くなどして事実関係を調査し、原因や対策などについて大学院生に回答します。なお、いかなる場合であっても相談者の学生 ID や氏名が授業担当者に明かされることはなく、相談によって不利益を被ることはありません。

(5) 成績評価に関する質問や異議申し立てについて

成績通知書に記載された成績評価に関する質問や異議申し立てをしたい場合は、定められた成績通知日から 1 週間以内に、京田辺キャンパス教務センター（心理学研究科）に採点質問票を提出してください。

(6) 追試験制度について

1. 対象者

正規学生、科目等履修生、外国人留学生特別学生の全年次生を対象とします。ただし、大学院生が免許・資格取得等のため学部科目を履修する場合、あるいは大学院科目が学部科目と合併で開設され、当該科目を履修する場合、大学院生も追試験の受験対象者となります。

2. 対象試験範囲

「学業履修について」に定める事由のために、定期試験または研究科委員会が認める臨時試験を受験できなかった場合に限り行われる試験を追試験といいます。「追試験願」を当該科目の試験終了後 3 日以内（窓口業務休止日を除く）に、京田辺キャンパス教務センター（心理学研究科）に提出してください。「追試験願」には、当該試験を受験できなかった事由を証明する書類を添付してください。なお、1 科目につき 1,000 円の追試験料が必要です。

■ その他

(1) 教員研究室、研究科事務室、教務センターの場所について

1. 心理学研究科の専任教員の研究室は、香柏館低層棟 2 階および香柏館高層棟 3 階・4 階にあります。
2. 心理学研究科事務室は、香柏館低層棟 1 階にあります。書類の受け渡し等の事務作業の他に、図書の貸出し、学会報の配布等を行っています。

3. 京田辺キャンパス教務センター（心理学研究科）は成心館 1 階にあります。
履修・登録・成績・証明書発行・奨学金・学位論文などを所管しています。

(2) 所定の単位修得者の取り扱い

1. 博士課程の前期課程において、2 年以上在学し、所定の単位を修得した者は、次の学年度から授業料および教育充実費を半額とします。
2. 博士課程の後期課程において、3 年以上在学した者は、次の学年度から授業料および教育充実費を半額とし、実験実習料は納入を要しません。
3. ただし、学部または大学院前期課程の授業科目履修を希望する者については対象となりません。

(3) 免許・資格

教職課程の資格を登録する学生は、所属研究科での科目登録とともに、免許資格課程センター事務室での課程登録等の手続を完了する必要があります。

(4) 奨学金

奨学金制度については、願書交付の際に配布される説明書を熟読してください。詳細は学生生活課京田辺奨学・生活係（TEL：0774-65-7430）まで問い合わせてください。

心理学研究科心理学専攻

博士課程（前期課程） 履修の手引き

博士課程・前期課程

履 修 の 手 引 き

【 1 】 修業年限と在学可能年限

博士課程前期課程の標準修業年限は2年です。4年を超えて在学することはできません。

【 2 】 課程修了の要件

修士学位を取得するためには、次の要件を満たさなければなりません。

(1) 博士課程前期課程に2年以上在学すること。

(2) 授業科目について、以下の単位を修得すること。

1. 心理学コース

甲類科目から講義4単位と演習4単位を必修し、乙類科目については指導教員の指示により22単位以上履修すること。

2. 臨床心理学コース

甲類科目から講義10単位と実習12単位と演習6単位を必修し、乙類科目については指導教員の指示により10単位以上履修すること。

(3) 「論文」を登録し、必要な研究指導を通算1年以上受けたうえ、修士学位論文を提出し、合格すること。

【 3 】 履修方法・修了必要単位数

心理学研究科の授業科目や履修方法等は、それぞれに定められています。大学院学則の他、諸規程を含め、詳しくは『大学院履修要項』を確認してください。

指導上必要と認められる場合に限り、履修済科目を複数回履修できます。しかし、2回目以降の履修は修了単位には算入されません（自由科目として登録します）。

【 4 】 修士学位論文審査および課程修了の認定

修士学位論文は、在学期間中に審査を終了します。また、課程修了の認定は、研究科長会において行います。

【 5 】 学位の名称

前期課程修了の認定を受けた大学院生に授与される学位は「修士（心理学）」です。学位は、「修士（心理学）（同志社大学）」のように表記してください。

【 6 】 修士学位取得までの前期課程のプロセス

修士学位を取得するためには、①心理学研究科が定める所定の授業科目を履修した上、修了に必要な単位数を修得するとともに、②研究指導を通じて修士学位論文を作成し、これに合格しなければなりません。下に記載する修士学位論文審査基準以外に、指導教員からの指示を踏まえて、2年間の各自の研究計画を組み立ててください。

第1年次	年度始め	・ 出願時の書類をもとに指導教員を決定
	各学期中	・ 指導教員による研究指導 ・ 演習科目で研究発表 ・ 研究成果公表の推奨
第2年次以上	年度始め	・ 「博士課程（前期課程）研究計画書」の提出
	各学期中	・ 指導教員による研究指導 ・ 演習科目で研究発表 ・ 研究成果公表の推奨
	1月中旬	・ 修士学位論文提出
修士学位 論文提出後 （修士学位 論文審査）	提出後	・ 論文審査委員会の設置（主査・副査の決定）
	1～2月中旬	・ 論文査読、口頭試問
	2～3月上旬	・ 修士学位論文総合審査（心理学研究科委員会、研究科長会）
	3月下旬	・ 学位授与式

【 7 】 心理学研究科 修士学位論文 審査基準

(1)	国内外の関連研究に関する文献研究を網羅的に実施しているか。
(2)	学位論文で扱う問題の意義および独自性が示されているか。
(3)	研究で得られた知見が学界において有益であると認められるか、あるいは社会への貢献が期待できるか。
(4)	研究方法是科学的な心理学研究として妥当か。
(5)	研究方法是専門家から認められる水準にあるか。
(6)	分析方法は適切か。
(7)	研究の量は修士論文として十分か。
(8)	客観的なデータに基づき論理的で適切な考察がなされているか。
(9)	必要な倫理的配慮を行っているか。

2022 年度 心理学研究科 修士論文提出要領

『修士論文作成要領』を参照のうえ、下記の要領で提出してください。

修 士 論 文 提 出 資 格	以下、①から③までを全て満たす必要がある。 ① 所定の年限を在学し、定められた単位を修得した者およびその見込みである者。 ※ 3 年次以上の者については、修了見込みセメスター末に修士論文を提出すること。 ■心理学コース 甲類科目から講義 4 単位、演習 4 単位を必修し、乙類科目については指導教員の指示により、22 単位以上履修すること。 ■臨床心理学コース 甲類科目から講義 10 単位、実習 12 単位、演習 6 単位を必修し、乙類科目については指導教員の指示により 10 単位以上履修すること。 ② 年度始めの履修科目登録期間に、指導教員の指示により、以下の科目を登録した者。 「心理学体系論演習Ⅲ・Ⅳ」もしくは「臨床心理学体系論演習Ⅲ・Ⅳ」、および「論文」。 ただし、3 年次以上の者については専攻教務主任の指示によること。 ③ 修士論文提出時に学生納付金を完納していること。
--	--

提出書類	①修士論文（提出された論文は返却しません） ・事前に事務室で配布される（秋学期修了は12月中旬から配布）、所定のファイルに綴じること。 ・論文には本文と同じ用紙で標題紙（タイトルページ）を付けること。 ・標題紙には、題名、専攻・コース、入学年度、学生ID、氏名を明記すること（標題紙の綴じ方参照）。 ・論文のPDFファイルを別途電子メールで提出すること（提出先は別途案内します。）ファイルサイズが大きい場合は同事務室に相談すること。 ②論文梗概 ・修士論文と同じ様式で、1,000字以内とし、修士論文標題紙（タイトルページ）の前に綴じること。 ・論文梗概にも標題紙を付けること。 ・梗概標題紙には「論文梗概」と記し、題名、専攻・コース、入学年度、学生ID、氏名を明記すること。 ③写 真 ・写真台紙（所定用紙）は事前に事務室で配布する（秋学期修了は12月中旬から配布）。 ・タテ6cm×ヨコ5cmで、上半身脱帽の写真を準備すること。 ・写真台紙（所定用紙）に貼付し、修士論文標題紙（タイトルページ）の次に綴じること。 ④修士論文標題紙（タイトルページ）のコピー 1部 ⑤修士論文受領書 ・事前に事務室で配布する（秋学期修了は12月中旬から配布）。 ⑥製本代の納入 ・証明書等自動発行機で「心理学研究科修論製本代」4,840円を納入し、その際に発行された納入済証を提出すること（製本代は変更される場合がある）。
提出期日	【春学期修了】提出期日： 2022年7月8日（金）←今年度該当者無し 【秋学期修了】提出期間： 2023年1月11日（水）～1月13日（金） 提出場所： 京田辺キャンパス教務センター（心理学研究科） 9:00～17:00（但し11:30～12:30を除く）
備考	● 原則として心理学研究科では秋学期修了とする。 ● 修士論文は製本後、研究科書庫に図書として保管される。 ● 論文および梗概の正本以外はコピーでよい。 ● 事前に修得単位数の確認をしておくこと。 ● 修士論文製本代は、修士論文が不合格の場合には返還される。 ● 提出され、合格した論文は閲覧に供する。 ● 修了者は共同研究室内個人ロッカーの鍵や、入館カードを必ず返却すること。

修士論文作成要領

修 士 論 文 作 成 要 領	修士論文 提出部数	論文梗概 提出部数	写真 提出枚数
原則としてワープロを使用すること（1 ページ 40 字×25 行）。 A4 判・横書きで、本文は 24,000～40,000 字程度。 英語を使用する場合、8,400～14,000words 程度。 その他詳細については指導教員の指示を受けること。	3 部	3 部	2 枚

必ず所定のファイルに綴じて提出してください。

< 標題紙の綴じ方 >

1 枚目（梗概標題紙）

論文梗概 ○○○○○○○○○○ (論文標題) 専攻・コース 入学年度、学生 ID 氏 名
--

※「論文梗概」と記すこと

2 枚目

(梗概・1,000 字以内)

※3 枚目（論文標題紙）

○○○○○○○○○○ (論文標題) 専攻・コース 入学年度、学生 ID 氏 名

※梗概が 2 枚以上の場合は梗概の次の枚数
以下同じ

※4 枚目（写真台紙）

(同志社写真台紙) 写真 氏 名
--

※5 枚目

(目 次)

※6 枚目～

(本文)

心理学専攻 心理学コース

甲類科目												
履修年次▶		1～										
科目 区分	開講 期間	登録コード		科目名	単位	担当者	開講 校地	週時間	曜日	講時	聴講 区分	
		科目コード	クラス									
甲類科目	講義	春	31701201	000	心理学体系論I	2	田中 あゆみ	田	2.0	水	2	不可
							竹原 卓真					
							余語 真夫					
							内山 伊知郎					
	秋	31701202	000	心理学体系論II	2	畑 敏道	田	2.0	水	2	不可	
						中谷内 一也						
						神山 貴弥						
						青山 謙二郎						
	演習	春	31701203	001	心理学体系論演習I	1	青山 謙二郎	田	2.0	月	6	不可
				002			内山 伊知郎			月	6	
				003								
				004			神山 貴弥			火	5	
				005								
				006			竹原 卓真			月	6	
				007			田中 あゆみ			水	1	
				008			中谷内 一也			火	5	
				009			畑 敏道			月	1	
		秋	31701204	001	心理学体系論演習II	1	青山 謙二郎	田	2.0	月	1	不可
				002			内山 伊知郎			月	6	
				003								
				004			神山 貴弥			火	5	
				005								
				006			竹原 卓真			月	6	
				007			田中 あゆみ			水	1	
				008			中谷内 一也			火	1	
				009			畑 敏道			月	1	

2～												
履修年次▶												
科目 区分	開講 期間	登録コード		科目名	単位	担当者	開講 校地	週時間	曜日	講時	聴講 区分	
		科目コード	クラス									
	演習	春	31701205	001	心理学体系論演習III	1	青山 謙二郎	田	2.0	月	1	不可
				002			内山 伊知郎			月	7	
				003								
				004			神山 貴弥			水	5	
				005								
				006			竹原 卓真			月	7	
				007			田中 あゆみ			月	1	
				008			中谷内 一也			火	6	
				009			畑 敏道			月	2	
	秋	31701206	005	001	心理学体系論演習IV	1	青山 謙二郎	田	2.0	月	6	不可
				002			内山 伊知郎			月	7	
				003								
				004			神山 貴弥			水	5	
				005								
				006			竹原 卓真			月	7	
				007			田中 あゆみ			月	1	
				008			中谷内 一也			火	6	
				009			畑 敏道			月	4	
修士論文		31701099	000	論文	0		田	—	集中		不可	

心理学専攻 心理学コース

乙類科目											
履修年次▶		1～									
科目 区分	開講 期間	登録コード		科目名	単 位	担当者	開講 校地	週時間	曜日	講時	聴講 区分
		科目コード	クラス								
乙 類 科 目	秋	31702551	000	臨床心理学研究法特論	2	神原 広平	田	2.0	火	2	不可
	秋	31702552	000	心理学研究法特論	2	池田 賢司	田	2.0	金	5	不可
	春	31702553	000	認知心理学特論	2	竹原 卓真	田	2.0	火	3	不可
	春	31702557	000	生理心理学特論	2	畑 敏道	田	2.0	木	3	可
		31702559	000	精神医学特論	2						不可
		31702566	000	実験社会心理学特論	2						可
	秋	31702567	000	学習心理学特論	2	青山 謙二郎	田	2.0	金	2	可
		31702568	000	感情心理学特論	2						不可
		31702569	000	臨床パーソナリティ特論	2						不可
	春	31702570	000	発達心理学特論	2	内山 伊知郎	田	2.0	月	4	可
	秋	31702571	000	教育心理学特論	2	田中 あゆみ	田	2.0	火	3	不可
	春	31702572	000	学校心理学特論	2	神山 貴弥	田	2.0	月	5	可
	秋	31702573	000	臨床社会心理学特論	2	余語 真夫	田	2.0	木	4	不可
	春	31702575	000	精神病理学特論	2	富永 敏行	今	—	集中	集中	不可
	春	31702578	000	リスク心理学特論	2	中谷内 一也	田	2.0	火	2	不可
	秋	31702579	000	学校臨床心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開)	2	石川 信一	田	2.0	火	4	不可
	春	31702580	000	家族心理学特論(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)※隔週開講	2	興津 真理子	田	2.0	月	1・2	不可
	秋	31702581	000	バリアフリーの心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)	2	武藤 崇	田	2.0	火	3	不可
	秋	31702582	000	犯罪心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	2	毛利 真弓	田	2.0	金	3	不可
		31702583		心理学特論	2						不可
	春	31702585	000	保健医療分野に関する理論と支援の展開	2	大屋 藍子	田	2.0	水	1・2	不可
	秋	31702586	000	産業・労働分野に関する理論と支援の展開	2	榎本 正己	田	—	集中	集中	不可
	春	31702587	000	心の健康教育に関する理論と実践	2	大西 貴子	田	—	集中	集中	不可

履修方法

甲類科目 講義4単位+演習4単位、計:8単位を履修すること。

乙類科目 指導教員の指示のもと、22単位以上を履修すること。

※心理学コース生は、臨床心理学コースの甲類科目及び、臨床心理学コースにのみ設置されている乙類科目を履修することはできない。

心理学専攻 臨床心理学コース

甲類科目(1年次)													
履修年次▶				1～									
科目 区分	開講 期間	登録コード		科目名	単 位	担当者	開講 校地	週時間	曜日	講時	聴講 区分		
		科目コード	クラス										
甲 類 科 目	講 義	春	31702001	000	臨床心理学特論I	2	石川 信一	田	2.0	火	4	不可	
		秋	31702002	000	臨床心理学特論II	2	杉若 弘子	田	2.0	金	4	不可	
		春	31702007	000	臨床心理面接特論I	2	毛利 真弓	田	2.0	月	3	不可	
		春	31702019	000	臨床心理査定演習I(心理的アセスメントに関する理論と実践) ※隔週開講	2	大屋 藍子	今	2.0	水	1・2	不可	
		秋	31702008	000	臨床心理面接特論II ※隔週開講	2	武藤 崇	今	2.0	水	1・2	不可	
	実 習	春	31702003	000	臨床心理基礎実習I	2	大屋 藍子 毛利 真弓	田	4.0	金	1・2	不可	
			31702022	000	臨床心理実習III(心理実践実習(2))	1	興津 真理子 武藤 崇 石川 信一 大屋 藍子 毛利 真弓 神原 広平 津田 菜摘 堀江 幸代 横山 有果里 笹川 宏樹 八木 安理子	今	2.0	水	7	不可	
		秋	31702004	000	臨床心理基礎実習II	2	興津 真理子 杉若 弘子	今	4.0	月	6・7	不可	
			31702023	000	臨床心理実習IV(心理実践実習(3))	1	杉若 弘子 興津 真理子 武藤 崇 石川 信一 大屋 藍子 毛利 真弓 神原 広平 津田 菜摘 横山 有果里 笹川 宏樹 八木 安理子	今	2.0	水	7	不可	
			春	31702010	000	臨床心理査定演習II ※隔週開講	2	興津 真理子	田	2.0	月	1・2	不可
				31702015	001	臨床心理学体系論演習I	1	石川 信一	田	2.0	火	6	不可
					002			興津 真理子			火	6	
					003								
					004								
			秋	31702016	001	臨床心理学体系論演習II	1	石川 信一	田	2.0	火	6	不可
		002			興津 真理子			火			6		
		003											
		004			杉若 弘子			火			5		
		005			武藤 崇			金			1		

心理学専攻 臨床心理学コース

甲類科目(2年次)												
履修年次▶				2～								
科目 区分		開講 期間	登録コード		科目名	単位	担当者	開講 校地	週時間	曜日	講時	聴講 区分
			科目コード	クラス								
甲 類 科 目	実 習	春	31702020	000	臨床心理実習Ⅰ(心理実践実習(1))	2	興津 真理子	今	4.0	土	6・7	不可
							武藤 崇					
							石川 信一					
							大屋 藍子					
							毛利 真弓					
							神原 広平					
		津田 菜摘										
		笹川 宏樹										
		八木 安理子										
		31702024	000	臨床心理実習Ⅴ(心理実践実習(4))	1	興津 真理子	今	2.0	水	7	不可	
						武藤 崇						
						石川 信一						
	大屋 藍子											
	毛利 真弓											
	神原 広平											
	津田 菜摘											
	堀江 幸代											
	横山 有果里											
	笹川 宏樹											
	八木 安理子											
31702026	000	臨床心理・学外実習Ⅰ(心理実践実習(6))	2	興津 真理子	今	4.0	木	6・7	不可			
				武藤 崇								
				石川 信一								
				大屋 藍子								
				毛利 真弓								
				神原 広平								
津田 菜摘												
笹川 宏樹												
八木 安理子												
秋	31702021	000	臨床心理実習Ⅱ	2	杉若 弘子	今	4.0	土	6・7	不可		
					興津 真理子							
					武藤 崇							
					石川 信一							
	31702025	000	臨床心理実習Ⅵ(心理実践実習(5))	1	大屋 藍子	今	2.0	水	7	不可		
					毛利 真弓							
					神原 広平							
					津田 菜摘							
31702027	000	臨床心理・学外実習Ⅱ(心理実践実習(7))	2	津田 菜摘	今	4.0	木	6・7	不可			
				横山 有果里								
				笹川 宏樹								
				八木 安理子								
演 習	春	31702017	001	臨床心理学体系論演習Ⅲ	1	杉若 弘子	田	2.0	火	7	不可	
						興津 真理子			火	7		
						武藤 崇						
						石川 信一			火	7		
						大屋 藍子			火	7		
	秋	31702018	002	臨床心理学体系論演習Ⅳ	1	毛利 真弓	田	2.0	火	7	不可	
						神原 広平			火	7		
						津田 菜摘						
						笹川 宏樹			火	7		
						八木 安理子			火	6		
修士論文			31701099	000	論文	0	不定	田	—	集中	不可	

心理学専攻 臨床心理学コース

乙類科目												
履修年次▶				1～								
科目 区分	開講 期間	登録コード		科目名	単 位	担当者	開講 校地	週時間	曜日	講時	聴講 区分	
		科目コード	クラス									
乙 類 科 目	A群	秋	31702551	000	臨床心理学研究法特論	2	神原 広平	田	2.0	火	2	不可
	A群	秋	31702552	000	心理学研究法特論	2	池田 賢司	田	2.0	金	5	不可
	B群	春	31702553	000	認知心理学特論	2	竹原 卓真	田	2.0	火	3	不可
	B群	春	31702557	000	生理心理学特論	2	畑 敏道	田	2.0	木	3	可
	D群		31702559		精神医学特論	2						不可
	E群		31702563	000	心理療法特論II	2						不可
	E群	春	31702564	000	心理療法特論III	2	永野 浩二	田	2.0	集中	集中	不可
	E群	秋	31702565	000	臨床心理地域援助特論	2	八木 安理子	田	2.0	金	6	不可
	C群		31702566	000	実験社会心理学特論	2						可
	B群	秋	31702567	000	学習心理学特論	2	青山 謙二郎	田	2.0	金	2	可
	B群		31702568	000	感情心理学特論	2						不可
	B群		31702569	000	臨床パーソナリティ特論	2						不可
	B群	春	31702570	000	発達心理学特論	2	内山 伊知郎	田	2.0	月	4	可
	B群	秋	31702571	000	教育心理学特論	2	田中 あゆみ	田	2.0	火	3	可
	B群	春	31702572	000	学校心理学特論	2	神山 貴弥	田	2.0	月	5	可
	C群	秋	31702573	000	臨床社会心理学特論	2	余語 真夫	田	2.0	木	4	不可
	D群	春	31702575	000	精神病理学特論	2	富永 敏行	今	－	集中	集中	不可
	C群	春	31702578	000	リスク心理学特論	2	中谷内 一也	田	2.0	火	2	不可
	B群	秋	31702579	000	学校臨床心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開)	2	石川 信一	田	2.0	火	4	不可
	C群	春	31702580	000	家族心理学特論(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)※隔週開講	2	興津 真理子	田	2.0	月	2	不可
	D群	秋	31702581	000	バリアフリーの心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)	2	武藤 崇	田	2.0	火	3	不可
	C群	秋	31702582	000	犯罪心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	2	毛利 真弓	田	2.0	金	3	不可
	-		31702583		心理学特論	2						不可
	-	春	31702584	000	心理療法特論I(心理支援に関する理論と実践)	2	河越 隼人	田	2.0	月	5	不可
	D群	春	31702585	000	保健医療分野に関する理論と支援の展開	2	大屋 藍子	田	2.0	水	1	不可
	-	秋	31702586	000	産業・労働分野に関する理論と支援の展開	2	榎本 正己	田	－	集中	集中	不可
	-	春	31702587	000	心の健康教育に関する理論と実践	2	大西 貴子	田	－	集中	集中	不可

履修方法

甲類科目 講義10単位+実習12単位+演習6単位、計:28単位を履修すること。

乙類科目 指導教員の指示のもと、10単位以上を履修すること。

※臨床心理学コース生は、心理学コースの甲類科目を履修することはできない。

心理学研究科

心理学専攻 臨床心理学コース

修了要件	臨床心理士		公認心理師	設置コード	科目名	配当 年次	単位			
	区分	指定科目	指定科目							
甲類 (講義)	必修	臨床心理学特論 (4単位)		31702001	臨床心理学特論Ⅰ	1～	2			
				31702002	臨床心理学特論Ⅱ		2			
		臨床心理面接特論 (4単位)		31702007	臨床心理面接特論Ⅰ		2			
				31702008	臨床心理面接特論Ⅱ		2			
臨床心理査定演習 (4単位)		心理的アセスメントに関する理論と実践	31702019	臨床心理査定演習Ⅰ(心理的アセスメントに関する理論と実践)	2					
			31702010	臨床心理査定演習Ⅱ	2					
臨床心理基礎実習 (2単位)			31702003	臨床心理基礎実習Ⅰ	2					
			31702004	臨床心理基礎実習Ⅱ	2					
甲類 (実習)		臨床心理実習 (2単位)	心理実践実習	31702020	臨床心理実習Ⅰ(心理実践実習(1))		2～	2		
				31702021	臨床心理実習Ⅱ		2			
	31702022			臨床心理実習Ⅲ(心理実践実習(2))	1～	1				
	31702023			臨床心理実習Ⅳ(心理実践実習(3))	1					
甲類 (演習)			31702024	臨床心理実習Ⅴ(心理実践実習(4))	2～	1				
			31702025	臨床心理実習Ⅵ(心理実践実習(5))		1				
			31702026	臨床心理・学外実習Ⅰ(心理実践実習(6))	1～	2				
			31702027	臨床心理・学外実習Ⅱ(心理実践実習(7))		2				
			31702015	臨床心理学体系論演習Ⅰ	2～	1				
			31702016	臨床心理学体系論演習Ⅱ		1				
			31702017	臨床心理学体系論演習Ⅲ	1					
			31702018	臨床心理学体系論演習Ⅳ	1					
			乙類	選択 必修	A群		31702551	臨床心理学研究法特論	1～	2
					A群		31702552	心理学研究法特論		2
B群	31702553	認知心理学特論			2					
B群	31702557	生理心理学特論			2					
D群	31702559	精神医学特論			2					
E群	31702563	心理療法特論Ⅰ			2					
E群	31702564	心理療法特論Ⅲ			2					
E群	31702565	臨床心理地域援助特論			2					
C群	31702566	実験社会心理学特論			2					
B群	31702567	学習心理学特論			2					
B群	31702568	感情心理学特論			2					
B群	31702569	臨床パーソナリティ特論			2					
B群	31702570	発達心理学特論			2					
B群	31702571	教育心理学特論			2					
B群	31702572	学校心理学特論			2					
C群	31702573	臨床社会心理学特論			2					
D群	31702575	精神病理学特論			2					
C群	31702578	リスク心理学特論			2					
B群	31702579	学校臨床心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開)			2					
C群	31702580	家族心理学特論(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)			2					
D群	31702581	バリアフリーの心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)			2					
C群	31702582	犯罪心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)			2					
-	31702583	心理学特論			2					
-	31702584	心理療法特論Ⅰ(心理支援に関する理論と実践)			2					
D群	31702585	保健医療分野に関する理論と支援の展開			2					
-	31702586	産業・労働分野に関する理論と支援の展開			2					
-	31702587	心の健康教育に関する理論と実践			2					
修士論文					31701099		論文	2～		0

修了要件	甲類科目	講義10単位+実習12単位+演習6単位,計:28単位を必修すること。
	乙類科目	指導教員の指示のもと,10単位以上を履修すること
	修士論文	甲類・乙類より必要単位を修得(登録)し,修了見込み状態で修士論文提出,合格すること。
臨床心理士	必修科目	必修科目から5科目16単位を修得すること。
	選択必修科目	A,B,C,D,E群からそれぞれ2単位以上,計10単位以上を修得すること。
	修士論文	修士論文のテーマと内容が臨床心理学に関するものであること。
	課程修了	当該指定修士課程を修了すること。
公認心理師	大学院における必要科目	公認心理師法で定められた科目をすべて履修のうえ,修了することで,受験資格要件の「大学院において施行規則第2条で定める科目を履修」を満たすことができる。ただし,受験資格があるかどうかは「大学における必要科目」を全て履修し,卒業していること(「4年生大学における要件」を満たしていること)が前提条件となる。
	課程修了	

心理学研究科心理学専攻

博士課程（後期課程） 履修の手引き

博士課程・後期課程

履修の手引き

【 1 】 修業年限と在学可能年限

博士課程後期課程の標準修業年限は3年です。6年を超えて在学することはできません。

【 2 】 課程修了の要件

博士学位を取得するためには、次の要件を満たさなければなりません。

- (1) 博士課程に5年（博士課程前期課程または修士課程を修了した学生は、当該課程の2年の在学期間を含む）以上在学すること。
- (2) 必要な研究指導を受けたうえで、学位論文を提出すること。
- (3) 学位論文を中心とし、これに関連ある分野について行われる試験に合格すること。
- (4) 課程修了の認定は、その研究に必要な外国語によく通じていること。
- (5) 以下科目の履修方法に従うこと。

【2017年度以前入学生】

1. 指導教員の指示により「心理学特殊研究ⅠからⅨ」のいずれかにおいて指導を受けなければなりません。
2. 2年次には、指導教員の指示により「プロジェクト特別演習」において指導を受けなければなりません。

【2018年度以降入学生】

1. 研究指導科目から12単位修得すること。
2. プロジェクト科目から4単位修得すること。

【 3 】 学位論文審査および課程修了の認定

博士学位論文は、在学期間中に提出して審査を受けます。次ページの「博士学位取得までのプロセス」および研究科の指示に従ってください。課程修了の認定は、研究科長会において行い、学位は学位授与式の日付で授与されます。在学中に博士学位論文を提出できない場合は指導教員に相談すること。

【 4 】 学位の名称

後期課程修了の認定を受けた大学院生に授与される学位は「博士（心理学）」です。学位は、「博士（心理学）（同志社大学）」のように表記してください。

【 5 】 後期課程入学から博士学位取得までの全体のプロセス

博士学位を取得するためのプロセスは次のとおりです。これを目安とし、ガイダンスに従って、各自の研究計画を組み立ててください。

研究指導、論文作成指導および論文審査は、博士後期課程研究指導委員会、博士学位論文作成指導委員会および博士学位論文審査委員会がそれぞれ当たります。これらの委員会は心理学研究科委員会のもとに設置され、それぞれの委員会は、指導教員と副指導教員で構成されています（博士学位論文審査委員会の場合は主査と副査）。

第 1 年次	年度始め	・ 出願時の書類をもとに研究指導教員・副指導教員を決定（心理学研究科委員会）
	各学期中	・ 研究指導科目の履修（心理学特殊研究） ・ 研究成果の公表（論文発表、学会発表など）
	年度末	・ 研究成果報告会での発表
第 2 年次	年度始め	・ 「博士課程（後期課程）研究計画書」の提出
	各学期中	・ 研究指導科目の履修（心理学特殊研究、プロジェクト特別演習*） *プロジェクト特別演習では研究発表が求められる ・ 研究成果の公表（論文発表、学会発表など）
	2 月 1 日まで（原則）	・ 博士学位論文執筆資格審査申請 （指導教員と相談のこと）
	年度末	・ 研究成果報告会での発表 ・ 博士学位論文執筆資格審査（心理学研究科委員会で判定）
第 3 年次以上	年度始め	・ 「博士学位論文作成計画書」の提出 ・ 論文作成指導教員・副指導教員の決定（心理学研究科委員会）
	各学期中	・ 研究指導科目の履修（心理学特殊研究） ・ 研究成果の公表（論文発表、学会発表など）
	7 月頃から 9 月末まで	・ 予備審査用博士論文提出申請 （指導教員と相談のこと） ・ 予備審査用博士論文*3 部および論文要旨 3 部を心理学研究科事務室に提出 *正式な製本は不要で、バインダー等の簡易装丁でよい *体裁は指導教員の指示に従うこと *予備審査用博士論文を提出できない場合、副指導教員と面談し、論文の執筆状況を報告する ・ 博士学位論文執筆資格審査申請（原則 9 月 1 日まで：執筆資格審査未受審者） ・ 博士学位論文執筆資格審査（執筆資格審査未受審者）
	11 月末まで	・ 博士学位論文提出条件 の充足 ・ 博士学位論文提出 （仮製本済みの博士論文 3 部）
	年度末	・ 研究成果報告会での発表（博士学位論文未提出者） ・ 博士学位論文執筆資格審査申請（原則 2 月 1 日まで：執筆資格審査未受審者） ・ 博士学位論文執筆資格審査（執筆資格審査未受審者） ・ 3 月末までに予備審査用博士論文を提出できない場合、副指導教員と面談し、論文の執筆状況を報告する

【 6 】 博士学位論文審査のプロセス

先の【5】の表にもありますが、理解のためにここでは学位論文審査プロセスに特化した詳細な内容をお知らせします。後期課程3年次3月に学位授与される通常ケースでは、次の学位論文審査プロセスになります。

2年次2月1日	・博士学位論文執筆資格審査願の提出〆切
2年次2月頃	・博士学位論文執筆資格審査の実施 → 合格が必要
7月末までに	・博士学位論文予備審査論文提出願の提出
9月末までに	・予備審査用博士論文（簡易装丁でよい・3部）および論文要旨（3部）の提出 ・論文審査委員会の設置（主査・副査）
10月末頃	・予備審査用博士論文の査読実施および予備審査
11月末までに	・博士学位論文提出条件の充足（必要な学術業績等の充足） ・博士学位論文（仮製本済・3部）の提出
12月末頃	・公聴会実施 ・博士学位論文の査読、および総合試験
翌年1～3月頃	・博士学位論文総合審査（心理学研究科委員会、研究科長会）
翌年3月下旬	・学位授与式

※ なお、後期課程に3年を超えて在学後に学位を取得するケースや、2015年度以前生で同じく後期課程に3年を超えて在学後に学位を取得するケースは、後掲の「博士学位論文作成パターン」の表を参照してください。

【 7 】 博士学位論文執筆資格審査の申請と実施

後期課程で2年間修学し（あるいは見込みであり）、かつ以下の博士学位論文執筆資格審査受審基準(1)～(3)のいずれかを満たした者に対し、当大学院生からの申請に基づき博士学位論文執筆資格審査を行います。この資格審査の基準には博士課程前期課程からの論文や研究発表を含みます。なお、2年間の修学には休学期間を含みません。

後期課程の大学院生は、心理学研究科が例年2月に主催する後期課程の研究成果報告会で、年度始めに提出した博士学位論文作成計画書をもとに研究の進捗状況と今後の予定を報告します。博士学位論文執筆資格審査申請者はこの報告をもとに、論文作成指導委員会で博士学位論文執筆資格の有無を審査し、心理学研究科委員会が可否の判定を行います。また、後期課程で2年間を超えて修学後に本資格審査を受審する場合は、9月にも審査の機会があります。

この資格審査申請には、所定の博士学位論文執筆資格審査願いの提出を求めます。原則として、審査願いは3月末までに審査を受ける場合は2月1日までに、9月末までに審査を受ける場合は9月1日までに、それぞれ指導教員と相談のうえ大学院教務主任に提出してください。その他の場合は大学院教務主任に相談を要します。

<<博士学位論文執筆資格審査受審基準>>

- (1) 審査論文2本 *
- (2) 審査論文1本と紀要論文1本 *
- (3) 審査論文1本と国際学会発表1回 * **

*審査論文は未公開であっても、当該学術誌の編集委員長（または編集委員会）等から正式な掲載許可が得られているものを含みます。

*基準を満たす上では、審査論文の掲載先は心理学の専門誌でなくても、内容が心理学であれば良いものとします。

*審査論文の掲載ジャーナルについては、基準を満たさないものもあるので、下記＜審査論文のジャーナル基準＞を参照し、投稿前に指導教員とよく相談してください。

**国際学会発表のデータは審査論文と同じものでも可とします。

**ビデオジャーナルへの掲載は国際学会発表と同じ扱いとします。

審査論文のジャーナル基準は以下のように取り扱います。

＜＜審査論文のジャーナル基準＞＞

(1) 国内ジャーナル

1. 日本学術会議協力学術研究団体発行のジャーナルであれば基準をクリアしているものします。 参考 HP <http://www.scj.go.jp/ja/group/dantai/index.html>
2. それ以外の団体が発行しているジャーナルに投稿しようとする場合は、必ず投稿前に指導教員と相談し、指導教員から教学問題検討委員会に相談してください。

(2) 海外ジャーナル

1. 基本的な方針としては、Web of Science Core Collection（下記 URL）から当該ジャーナルを検索し、登録されていることとします。* ** <https://mjl.clarivate.com/home>
2. 当該ジャーナルが 1. のサイトに登録されていない場合は、博士学位論文の構成論文として認められないことがあるため、必ず投稿前に指導教員と相談し、指導教員から教学問題検討委員会に相談してください。

* 博士論文執筆資格審査願提出時には、1. のサイトに登録されていることが分かる資料（検索結果のスクリーンショット）の提出を求めます。

** 2021 年度春学期まで運用していた、インパクトファクター(IF)値がジャーナルサイトに掲載されていれば良いというルールは 2021 年度秋学期から廃止しました。

【 8 】 博士学位論文予備審査の申請と実施

博士学位論文執筆資格審査に合格後、博士学位論文の執筆が始まります。そして、【6】に記載したように、通常なら博士論文予備審査用論文提出願を予備審査用論文提出の 2 ヶ月前までに大学院教務主任に提出し、9 月末までに博士学位論文予備審査用論文を書き上げて提出することになります。そして、約 1 ヶ月程度の査読期間の後、予備審査が実施されます。

【 9 】 博士学位論文提出における学術業績条件

博士学位論文を提出するためには、前の【7】で記した博士学位論文執筆資格審査に合格するとともに、次に定める条件(1)～(3)のいずれかを満たしていなければなりません。これはそれぞれ博士課程前期課程からの論文や研究発表を含みます。

<< 博士学位論文提出における学術業績条件 >>

- (1) 審査論文 3 本 *
- (2) 審査論文 2 本と紀要論文 1 本 *
- (3) 審査論文 2 本と国際学会発表 1 回 * **

*審査論文は未公開であっても、当該学術誌の編集委員長（または編集委員会）等から正式な掲載許可が得られているものを含みます。

*条件を満たす上では、審査論文の掲載先は心理学の専門誌でなくても、内容が心理学であれば良いものとします。

*審査論文の掲載ジャーナルについては、基準を満たさないものもあるので、【7】に記した< 審査論文のジャーナル基準 >を参照し、投稿前に指導教員とよく相談してください。

**国際学会発表のデータは審査論文と同じものでも可とします。

**ビデオジャーナルへの掲載は国際学会発表と同じ扱いとします。

博士学位論文には共同研究プロジェクトの成果を盛り込むことが望ましいです。その内容については指導教員と相談してください。ただし、後掲の博士学位論文提出要領で記載するように、共同研究プロジェクトの成果を盛り込むことは義務ではありません。また、博士論文提出者は、博士論文の研究内容について博士論文の主査及び副査の立ち会いのもとに、【6】で記すとおり公開の場で発表（公聴会）を行う必要があります。

【 10 】 心理学研究科 博士学位論文 審査基準

(1)	国内外の関連研究に関する文献研究を系統的かつ網羅的に実施しているか。
(2)	学位論文で扱う問題の意義および独自性が説得力をもって示されているか。
(3)	研究で得られた知見が学界において重要であると認められるか、あるいは社会への大きな貢献が期待できるか。
(4)	研究方法是科学的な心理学研究として妥当か。
(5)	研究方法是専門家として認められる水準にあるか。
(6)	分析方法は適切か。
(7)	研究の量は博士論文として十分か。
(8)	客観的なデータに基づき論理的で適切な考察がなされているか。
(9)	研究それぞれの関係が十分に吟味されているか。
(10)	必要な倫理的配慮を行っているか。

メモ

博士学位論文作成パターン (2016年度以降生に適用)

在学中に学位論文を提出する場合 (D3の3月末学位授与、あるいはD4以降科目登録して在学の場合)		～までに ↓	3年以上在学し、学位論文提出後に退学、もしくは 科目登録せず在籍料を納入して在籍する場合	
3月学位授与希望者 (p. 28【3】(1)1.に該当)	9月学位授与希望者 (p. 28【3】(1)2.に該当)		3月学位授与希望者 (p. 28【3】(2)および(4)に該当)	9月学位授与希望者 (p. 28【3】(2)および(4)に該当)
	・執筆資格審査願いの提出(9/1) ・資格審査→合格 ・博士学位論文執筆開始	9月末		
		10月末		
		11月末		・予備審査願いの提出
		12月末		
	・予備審査願いの提出	1月末		・予備審査用論文の提出
・執筆資格審査願いの提出 (原則2月1日まで)		2月末		・予備審査用論文の査読
・資格審査→合格 ・博士学位論文執筆開始	・予備審査用論文の提出	3月末		・博士学位論文提出条件の充足 ・博士学位論文提出 ・退学(退学者のみ)
	・予備審査用論文の査読	4月末		
	・博士学位論文提出条件の充足 ・博士学位論文提出	5月末	・予備審査願いの提出	
	・公聴会実施 ・博士学位論文査読・総合試験 ・博士学位論文審査終了	6月末		・公聴会実施 ・博士学位論文査読・総合試験 ・博士学位論文審査終了
・予備審査願いの提出	・研究科委員会	7月末	・予備審査用論文の提出	・研究科委員会
		8月末	・予備審査用論文の査読	
・予備審査用論文の提出	・研究科長会 ・学位授与	9月末	・博士学位論文提出条件の充足 ・博士学位論文提出 ・退学(退学者のみ)	・研究科長会 ・学位授与
・予備審査用論文の査読		10月末		
・博士学位論文提出条件の充足 ・博士学位論文提出		11月末		
・公聴会実施 ・博士学位論文査読・総合試験 ・博士学位論文審査終了		12月末	・公聴会実施 ・博士学位論文査読・総合試験 ・博士学位論文審査終了	
・研究科委員会		1月末	・研究科委員会	
		2月末		
・研究科長会 ・学位授与		3月末	・研究科長会 ・学位授与	
注: 博士学位論文執筆資格審査を「資格審査」、博士学位論文予備審査を「予備審査」と略記する。			↑ 退学者の学位授与日は、退学日に遡る ↑	

↓↓↓↓【注意】 このページの提出パターンは2015年度以前生のみに適用される 【注意】 ↓↓↓↓

3年以上在学した後退学し、学位論文を提出する場合 (退学後2年半年以内)		～までに ↓	3年以上在学した後退学し、学位論文を提出する場合 (退学後2年半年を過ぎて3年以内)	
3月学位授与希望者 (p. 28【3】(3)1.に該当)	9月学位授与希望者 (p. 28【3】(3)1.に該当)		3月学位授与希望者 (p. 28【3】(3)1.に該当)	9月学位授与希望者 (p. 28【3】(3)1.に該当)
		9月末		
		10月末		・予備審査願いの提出
	・予備審査願いの提出	11月末		
		12月末		・予備審査用論文の提出 (退学後3年以内まで)
	・予備審査用論文の提出 (退学後2年半年まで)	1月末		
	・予備審査用論文の査読	2月末		・予備審査用論文の査読
	・博士学位論文提出条件の充足 ・博士学位論文提出	3月末		・博士学位論文提出条件の充足 ・博士学位論文提出 ※
		4月末	・予備審査願いの提出	
・予備審査願いの提出		5月末		
	・公聴会実施 ・博士学位論文査読・総合試験 ・博士学位論文審査終了	6月末	・予備審査用論文の提出 (退学後3年以内まで)	・公聴会実施 ・博士学位論文査読・総合試験 ・博士学位論文審査終了
・予備審査用論文の提出 (退学後2年半年まで)	・研究科委員会	7月末		・研究科委員会
・予備審査用論文の査読		8月末	・予備審査用論文の査読	
・博士学位論文提出条件の充足 ・博士学位論文提出	・研究科長会 ・学位授与	9月末	・博士学位論文提出条件の充足 ・博士学位論文提出	・研究科長会 ・学位授与
		10月末		
		11月末		
・公聴会実施 ・博士学位論文査読・総合試験 ・博士学位論文審査終了		12月末	・公聴会実施 ・博士学位論文査読・総合試験 ・博士学位論文審査終了	
・研究科委員会		1月末	・研究科委員会	
		2月末		
・研究科長会 ・学位授与		3月末	・研究科長会 ・学位授与	
注：博士学位論文執筆資格審査を「資格審査」、博士学位論文予備審査を「予備審査」と略記する。			※ 3年目の者は自身の退学日の前日が提出締切となる。故に、学期末とは限らない。(例：9月20日退学者は提出締切についても提出年度の9月19日、3月31日退学者は提出締切についても提出年度の3月30日となる。)	

2022年度 心理学研究科 博士学位論文提出要領（課程博士）

【 1 】 論文枚数等

原則としてMicrosoft Word等のワープロを使用し、A4判横書きとします。使用言語は日本語のほか英語も可で、その他詳細については指導教員の指示を受けてください。

【 2 】 提出方法

所定の書類とともに、所定の提出期日までに心理学研究科事務室に提出してください。後掲「【4】提出物」の「(1) 博士学位論文提出について」も参照してください。

【 3 】 提出期日（厳守） （前掲の博士学位論文作成パターン表も参照すること）

(1) 在学中に博士学位論文を提出し、審査を受ける場合

1. 在学中の秋学期学位授与日（3月22日）に学位授与されるケース
→ 11月末まで（「予備審査用」論文の提出は9月末まで）
2. 在学中の春学期学位授与日（9月第3土曜日）に学位授与されるケース
→ 5月末まで（「予備審査用」論文の提出は3月末まで）

(2) 3年以上在学し、博士学位論文提出後に退学する場合

- 当該学期末まで（「予備審査用」論文の提出は退学日の2ヶ月前まで）
なお、学位授与日は退学日に遡る。

(3) 3年以上在学した後退学し、博士学位論文を提出する場合

1. 【2015年度以前生】のケース
→ 退学日より3年以内（退学日の前日）（「予備審査用」論文を3ヶ月前までに提出）
なお、学位審査手数料25,000円が必要となり、学位授与日は可否を決定した研究科長会の日とします。
2. 【2016年度以降生】のケース
→ 博士学位論文は、在学期間中に提出するものとします。

(4) 博士学位論文提出後も在籍する場合*

【2016年度以降生】

2016年度以降生で標準修業年限3年在学し、所定の単位を修得し、必要な研究指導を受けた者が対象。

- 博士学位論文を提出し、論文審査のために在籍する場合については、論文審査在籍料を納入することで半年間または1年間在籍することができます。ただし、論文審査在籍料を納入して在籍する場合、大学院及び学部の授業科目を履修することはできません。

→ 当該年度の始めに、心理学研究科事務室において博士学位論文が受理されていることが必要です。

*この制度を利用する場合は、必ず事前に指導教員および研究科事務室に相談してください。

(5) 期日に関する注意事項

ここで言う提出期日とは、次の【4】に示す、論文を含む書類一式を心理学研究科事務室に提出する日を指しています。提出はいずれも心理学研究科事務室窓口取扱時間内（平日の9:00から17:00、但し11:30から12:30を除く）とします。特に月末の土曜・休日等に留意してください。例えば、30日が土曜日、31日が日曜日となる月の提出期日は、29日（金）となります。

【 4 】 提出物

(1) 博士学位論文提出について

1. 提出書類および部数（＊はデータで配布します）

① 論文（参考論文も含む）		3通
② 論文要旨（4,000字以内）	（様式所定）＊	3通
③ 学位申請書（課程博士の場合は、学位論文審査願）	（様式所定）＊	2通
④ 履歴書	（様式所定）＊	2通
⑤ 研究業績一覧表	（様式所定）＊	2通
⑥ 論文目録	（様式所定）＊	2通
⑦ 写真（所定の台紙に貼付）		1葉
⑧ 製本代（10,890円）の納入		

証明書等自動発行機で「心理学研究科博論製本代」10,890円を納入し、その際に発行された納入済証を提出してください（製本代は変更される場合があります）。また、博士学位論文提出時は、必ず仮製本されたものを提出してください。バインダー等の簡易装丁は認められません。

⑨ 論文のPDFファイル

学位論文のPDFファイルを心理学研究科事務室（jt-snrjm@mail.doshisha.ac.jp）へ電子メールで送付すること。ファイルサイズが大きい場合は心理学研究科事務室に相談すること。

2. 提出方法

課程博士： 上記書類に所定の審査料領収証の写しを添えて（在籍者は不要）、心理学研究科事務室に提出してください。

論文博士： 上記書類に所定の審査料領収証の写しを添えて心理学研究科事務室に提出してください。

【 5 】 注意事項

(1) 提出までのプロセス

博士学位論文を提出するためには、まず在学中に博士学位論文執筆資格審査に合格し、続いて「予備審査用」論文を提出して査読を受ける必要があります。それに加えて、博士学位論文提出時において、その提出条件を満たしている必要があります（前述の後期課程履修の手引き、【6】【7】【8】を参照）。

(2) 予備審査に関する注意事項

1. 博士学位論文提出予定者は、「予備審査用」論文3部および論文要旨3部を該当の期日までに心理学研究科事務室に提出してください。加えて、研究科事務室のメールアドレス（ jt-snrjm@mail.doshisha.ac.jp ）へ予備審査用論文のPDFファイルを送信してください。
2. 予備審査用論文は、バインダー等の簡易装丁でかまいません。
3. 提出は心理学研究科事務室窓口取扱時間内（平日の9:00から17:00、但し11:30から12:30を除く）とします。特に月末の土曜・休日等に留意してください。例えば、30日が土曜日、31日が日曜日となる月の提出期日は、29日（金）となります。

(3) 再予備審査について

博士学位論文の予備審査の査読を受けた後、期限内（予備審査を受けた月の翌月末）に博士学位論文が提出できず、さらにその後6ヶ月以内に博士学位論文を提出できない場合は、再度予備審査を受ける必要があります。なお、これはこれから予備審査用論文を提出する全ての人に適用されます。この件について不明な点がある場合は、大学院教務主任に問い合わせてください。理解のために、例を挙げます。

例1. 在学中に論文を提出し、3月に学位授与予定である場合

9月末まで：予備審査用論文の提出

10月末まで：予備審査用論文の査読

11月末：本来の学位論文提出期限 → 翌年3月に学位授与（学位論文審査合格の場合）

翌年5月末：延長された学位論文提出期限 → 同年9月に学位授与（学位論文審査合格の場合）

※ これ以降に学位論文を提出する場合は、再度予備審査を受ける必要があります。

例2. 3年以上在学した後退学して学位論文を提出し（退学後2年半以内）、3月に学位授与予定である場合（ただし、これは2016年度以降の入学生には適用されません）

7月末まで：予備審査用論文の提出

8月末まで：予備審査用論文の査読

9月末：本来の学位論文提出期限 → 翌年3月に学位授与（学位論文審査合格の場合）

翌年3月末：延長された学位論文提出期限 → 同年9月に学位授与（学位論文審査合格の場合）

の場合)

※ これ以降に学位論文を提出する場合は、再度予備審査を受ける必要があります。

【 6 】 その他

以下は博士論文について別に定められていて、毎年大学院生に向けて連絡している内容です。これらも適用されるのでよく読んで従ってください。博士課程・後期課程の履修の手引き内容と重複するところがありますが、重要なので以下にこれらの内容を記しておきます。

(1) 博士学位論文提出資格と2つのコースについて

1. 博士学位論文の提出資格

以下の3つのうち、いずれかを満たしていなければなりません。

- ① 審査論文3本
- ② 審査論文2本＋紀要論文1本
- ③ 審査論文2本＋国際学会発表1回
 - ・ 審査論文は未公刊であっても、当該学術誌の編集委員長(または編集委員会)等から正式な掲載許可が得られているものを含みます。
 - ・ 提出資格を満たす上では、審査論文の掲載先は心理学の専門誌でなくても、内容が心理学であれば良い。ただし、心理学の標準的な執筆形式から逸脱している場合は、後述のAコースであれば適切な補足、Bコースであれば適切な編集が必要になります。
 - ・ 審査論文の掲載ジャーナルについては、基準を満たさないものもあるので、博士課程・後期課程の履修の手引き【7】に記した＜審査論文のジャーナル基準＞を参照してください。
 - ・ 国際学会発表のデータは審査論文と同じものでも可とします。
 - ・ ビデオジャーナルへの掲載は国際学会発表と同じ扱いとします。

2.1 博士学位論文の2つのコース

博士学位論文の内容には、次ページに示す2つのコースが設定されています。どちらのコースで提出してもかまいませんが、予備審査と学位論文審査は、同一のコースの体裁で審査を受ける必要があります。もしコース変更をする場合は、予備審査から受け直すことになります。

Aコース：上記提出資格①を満たすもの。ただし、3本の審査論文の掲載許可が予備審査用論文提出〆切の1ヶ月前までに出ていなければなりません。ポイントは次の通りです。

- ※ 10,000字程度のoverviewの後に、審査論文3本を付ける。
- ※ Overviewでは専門分野のreview、3本の論文関係の解説、3本の論文概説、結論を述べる。
- ※ 3本の審査論文の内容は変更の必要は無い(「著者版最終原稿」を用いる)。

※ 3本の審査論文の内容そのものに補足が必要な場合（例えば、手続きの詳述や新しい分析の追加が必要な場合など）は、overviewとは別に各論文に適切な補足を付ける。

Bコース：上記提出資格②あるいは③を満たすもの（①の場合も可）。ポイントは次の通りです。

※ 2本の審査論文の内容も博士論文向けに編集する（編集する必要がなければ、そのまま流し込んでも可）。

※ 英文で執筆した論文がある場合、和文・英文の混在を可とする。

※ 分量は80,000字程度。

2.2 共同研究プロジェクトの成果の扱い

博士学位論文には共同研究プロジェクトの成果を盛り込むことが望ましい。ただし、これを盛り込むことは、義務ではありません。

2.3 Aコースへの一本化

2015年度博士後期課程の新入生より、Aコースのみに一本化する予定でしたが、当面はBコースとの併用を続けます。

(2) 心理学研究科における博士学位論文の要約にかかるガイドライン

著作権保護、個人情報保護等のやむを得ない事由により、学位授与に係る論文の全文をインターネット上に公表できない場合には、本学学位規程第13条に則り、本研究科委員会の承認を受けて、博士学位論文の全文が概要できるような構成で要約を作成し（下記参照）、学位授与に係る論文の全文に代えてその要約をインターネット上に公表する。

<博士学位論文要約の構成項目>

1. 論文題目

2. 各章要約

課題設定、方法論、実験・解析、考察などにより当該学位論文の概要として結論に至るまでの内容を記載します。

3. 要約の中で示された引用文献

<全体にかかわる注意事項>

1. 要約と本文の言語は一致させること。ただし、本文が和文・英文混在している場合はいずれかを選択できます。
2. 和文の場合は4,000字以内。
3. 英文の場合は1,400語以内。

心理学研究科

心理学専攻

[2018年度以降生]

履修年次▶		1～				2～				3～				開講情報 			
科目 区分	開講 期間	登録コード		科目名	単位	登録コード		科目名	単位	登録コード		科目名	単位	担当者	開講 校地	週時間	備考
		科目コード	クラス			科目コード	クラス			科目コード	クラス						
研究 指導 科目	春 学 期	41701131	001	心理学特殊研究(1)	2	41701133	001	心理学特殊研究(3)	2	41701135	001	心理学特殊研究(5)	2	青山 謙二郎	田	集中	
			002				002				002			内山 伊知郎	田	集中	
			003				003				003			神山 貴弥	田	集中	
			004				004				004						
			005				005				005						
			006				006				006			竹原 卓真	田	集中	
			007				007				007			田中 あゆみ	田	集中	
			008				008				008			中谷内 一也	田	集中	
			009				009				009			畑 敏道	田	集中	
			010				010				010			武藤 崇	田	集中	
			011				011				011						
			012				012				012			石川 信一	田	集中	
	秋 学 期	41701132	001	心理学特殊研究(2)	2	41701134	001	心理学特殊研究(4)	2	41701136	001	心理学特殊研究(6)	2	青山 謙二郎	田	集中	
			002				002				002			内山 伊知郎	田	集中	
			003				003				003			神山 貴弥	田	集中	
			004				004				004						
			005				005				005			杉若 弘子	田	集中	
			006				006				006			竹原 卓真	田	集中	
			007				007				007			田中 あゆみ	田	集中	
			008				008				008			中谷内 一也	田	集中	
			009				009				009			畑 敏道	田	集中	
			010				010				010			武藤 崇	田	集中	
			011				011				011						
			012				012				012			石川 信一	田	集中	
プロ ジェ ク ト 科 目	春 学 期				41701141	001	プロジェクト特別演習(1)	2					青山 謙二郎	田	集中		
						002							内山 伊知郎	田	集中		
						003							神山 貴弥	田	集中		
						004											
						005											
						006							竹原 卓真	田	集中		
						007							田中 あゆみ	田	集中		
						008							中谷内 一也	田	集中		
						009							畑 敏道	田	集中		
						010							武藤 崇	田	集中		
						011											
						012							石川 信一	田	集中		
	秋 学 期				41701142	001	プロジェクト特別演習(2)	2					青山 謙二郎	田	集中		
						002							内山 伊知郎	田	集中		
						003							神山 貴弥	田	集中		
						004											
						005							杉若 弘子	田	集中		
						006							竹原 卓真	田	集中		
						007							田中 あゆみ	田	集中		
						008							中谷内 一也	田	集中		
						009							畑 敏道	田	集中		
						010							武藤 崇	田	集中		
						011											
						012							石川 信一	田	集中		
博士論文																	

【修了要件および履修方法】

- ①博士課程に5年【博士課程(前期課程)または修士課程を修了した学生は、当該課程の2年の在籍期間を含む】以上、在学していること
 - ②研究指導科目から12単位修得すること
 - ③プロジェクト科目から4単位修得すること
 - ④博士論文を提出し、これに関連しておこなわれる試験に合格すること
 - ⑤研究に必要な外国語によく通じていること
- ※博士論文提出にあたっては、「心理学研究科 履修の手引き」を参照のこと

心理学研究科

心理学専攻

[2017年度以前生]

履修年次▶		1～				2～				3～				開講情報▼			
科目 区分	開講 期間	登録コード		科目名	単位	登録コード		科目名	単位	登録コード		科目名	単位	担当者	開講 校地	週時間	備考
		科目コード	クラス			科目コード	クラス			科目コード	クラス						
研究 指 導 科 目	通 年	41701101	000	心理学特殊研究I	0	41701101	000	心理学特殊研究I	0	41701101	000	心理学特殊研究I	0				
		41701102	000	心理学特殊研究II		41701102	000	心理学特殊研究II		41701102	000	心理学特殊研究II					
		41701103	000	心理学特殊研究III		41701103	000	心理学特殊研究III		41701103	000	心理学特殊研究III		神山 貴弥	田	集中	
		41701104	000	心理学特殊研究IV		41701104	000	心理学特殊研究IV		41701104	000	心理学特殊研究IV					
		41701105	000	心理学特殊研究V		41701105	000	心理学特殊研究V		41701105	000	心理学特殊研究V					
		41701106	000	心理学特殊研究VI		41701106	000	心理学特殊研究VI		41701106	000	心理学特殊研究VI					
		41701107	000	心理学特殊研究VII		41701107	000	心理学特殊研究VII		41701107	000	心理学特殊研究VII					
		41701108	000	心理学特殊研究VIII		41701108	000	心理学特殊研究VIII		41701108	000	心理学特殊研究VIII					
		41701109	000	心理学特殊研究IX		41701109	000	心理学特殊研究IX		41701109	000	心理学特殊研究IX					
		41701110	000	心理学特殊研究X		41701110	000	心理学特殊研究X		41701110	000	心理学特殊研究X					
		41701111	000	心理学特殊研究XI		41701111	000	心理学特殊研究XI		41701111	000	心理学特殊研究XI		畑 敏道	田	集中	
		41701112	000	心理学特殊研究XII		41701112	000	心理学特殊研究XII		41701112	000	心理学特殊研究XII					
プ ロ ジ ェ ク ト 科 目	通 年					41701126	001	プロジェクト特別演習	0								
							002										
							003										
							004										
							005										
							006										
							007										
							008										
							009										
							010										
							011										
							012										
							博士論文										

【修了要件および履修方法】

各年度に指導教員の指示により「心理学特殊研究I～XII」のいずれかにおいて指導をうけなければならない。

休学で通年科目が春・秋に渡って履修できない場合は、以下の取り扱いとする。

【春学期在籍+秋学期休学の場合】秋学期休学手続きとあわせて、当該科目の履修中止を行うこと。

【春学期休学+秋学期在籍の場合】当該科目を秋学期登録期間にDUETより登録すること。

2年次には、指導教員の指示により「プロジェクト特別演習」において指導を受けなければならない。

Graduate School of Psychology



DOSHISHA UNIVERSITY